

廣福寺だより

32号



親鸞聖人 行脚像（廣福寺墓地） 来年は親鸞聖人越後御流罪八百年

いま、ここ、わたし

彼岸を過ぎ、朝夕の冷え込みや空の高さから、はつきりと季節が移り変わっていることを実感いたします。中日にはお参り頂きましてありがとうございます。広福寺のご門徒以外の方々にもお参り頂きました。ありがとうございました。「報恩講」「女性講」もすぐです。どうか、お誘い合わせてお参り下さい。

今年は「親子と青壮年のつどい」も計画しております。夏に「広福寺青壮年会」の発起人をお願いした皆様にお集まり頂き、ご意見を頂戴致しました。余興のある（お笑い集団NAMARA）肩のこらない会にして、親子、青壮年の皆様からも気軽に寺に足を運んで頂きたいと、企画を進めております。

最近は皆様のお宅へ月参りにお伺いするたびに「もう先月のお参りから一ヶ月もたつたのか」と驚くことが多くなりました。そして、まだ先のことと思つております「御門主様御巡教」や、「親鸞聖人大遠忌」もいつの間にか近づいてきました。年を取ると時間の流れが早くなると言いますが、皆様はいかがでしょうか。

毎日の忙しさに追われる私たちの、見失われた「いま、ここ、わたし」のいのちを目ざめさせるのがお念仏のはたらき、教えです。どうか、お参り下さいませ。



来年

平成19年年忌表

五 十 回 忌	昭 和 三 十三 年	平 成 七 年	平 成 十三 年	平 成 十七 年	平 成 十八 年	周 忌	回 忌	回 忌	回 忌	周 忌												

いのちの歴史に出遇う —量り知れないのち—

我が家の歴史

年忌表の百回忌以降は、お正月から本堂の掲示板に掲示しておりますのでご覧下さい。ちなみに今年一番古い年忌は三百回忌（宝永三年）の方でした！よくぞ記録が残つていたことです。

それに比べて我が家のは浅いな……たいたしたことないな……などと、ついついつい勘違いをしてしまいやすいのですが、ちゃんと立ち止まって考えてみましょう。我が家のがだけが、地球の長い命の歴史の途中で急にその辺の土の中から誕生してきた、なんていうことはあり得ません。

どんな時代にも

いま生きているこの私と血つながったご先祖が、どんな時代にも息をして、喜怒哀楽の生活を送っていたということは間違いないことです。顔も姿もわからないので実感となりにくいのですが、命が一度も途切れていなければ、理屈からわかります。

すると、私たちひとりひとりの命は限られたものですが、この私の命の根っこには、一度も途切れたことがない深く広い命の歴史があるということです。

命の根っこ

よくよく考えてみると、私たちの命の根つ

この「一度も途切れたことがない」というのはものすごいことです。今までどれだけ多くの命が、次の命にバトンタッチするとなく、亡くなつて行つたことでしょう。

昔の過去帳を見ると、一年で今の二倍くらいの方が亡くなっていますのでビックリします。なぜでしょう。亡くなつた方の半分は赤ちゃんや幼児です。また、どんな時代にも、そこで途切れていった命が無数にありました。病気で、飢えで、戦争で……。

いのちへの感動

そのどんな時代にも、次へ次へとリレーされてきた命の結果がこの私の命です。

量り知れないのち（無量寿）の歴史がこの私の根っこであると感動していくこと。サンスクリット語のナムアミターユスは帰命無量寿如來ということ、ナムアミダブツは私のいのちに眼をさますことです。

命の根っこ



○どうぞ、ご利用下さい。

広福寺は地域に開かれた寺であることを目指しています。門信徒であるなしを問わず、多くの皆様においていただき、またご利用いただきたいと願っております。

広福寺本堂 皆様の法要（上げ法事など）も、皆様が願われる華美に過ぎない形での葬儀もできます。本来の葬儀のあり方を考えて行きましょう。

庫裏（くり） 様々な集会、レクリエーションなど、多様な利用の仕方ができます。ご相談下さい。

図書室 「広大文庫」どなたにも貸し出しをしております。仏教書、児童書、小説にマンガとバラエティに富み、図書のご寄進もいただき、どんどん充実しています。平日三時～六時まで。行事の日、土日祝日は全日開いています。

○どなたもお参り下さい。

浄土真宗の寺院は仏法を聞きひらいていく「聞法（もんぽう）」の道場です。

本山の布教師、県内の他の御寺院においていただく行事と、自坊で勤める行事があります。行事ではいつも「正信偈」など、皆様と共に勤めをしております。また、様々な方

の笑いあり、涙ありの、ご法話があります。

できるだけ多くの聞法のご縁に触れて頂きたいと願っております。住職自身も、新潟教区の行事や他の御寺院の行事などで、多くの方の法話を聞くご縁をいただいています。繰り返し聞けば聞くほど、仏法・お念仏の教えの深さ広大さを感じさせられます。

「門を出るとすぐ忘れる。すぐに婆娑の世界に戻ってしまう」とは、どなたもおっしゃることです。住職も同じですが、繰り返し聞いていく聞法の場を得ていて中で、右往左往して生きている自分の姿が逆に明らかとなり、その私が「いつでも戻つて行ける場所」、「いのちの定位置、方向性」が明らかになつてきます。どうぞ繰り返しお参り下さい。

心光寺住職による、お経の練習（30分）、梵行寺住職による正信偈講話（1時間）いつからでも入会できます。少しづつメンバーも増えています。ご門徒以外の方にも自由にご参加いただけます。

毎月開催です！お待ちしております。（通常は月末の木曜日です。冬時間7時半）

○聞法会の現在

心光寺住職による、お経の練習（30分）、梵行寺住職による正信偈講話（1時間）いつからでも入会できます。少しづつメンバーも増えています。ご門徒以外の方にも自由にご参加いただけます。

毎月開催です！お待ちしております。（通常は月末の木曜日です。冬時間7時半）

広福寺の将来へ向けて

「広福寺青壮年会」スタートへの願い

ス

タ

ー

ト

へ

の

願

い

＊

「

広

福

寺

青

壯

年

会

」

主 催 「広福寺青壮年会」発起人会
会長 武石雅之 副会長 山岸謙介
発起人 大谷良孝 小林一夫 渡辺健
大谷 徹 平岡智 山岸正樹
近山富貴 武石博章

最近毎日のように、人を信じられなくなるような事件が報じられ、不安感が重く私たちの心の底にたまつて行くようす。

どうしたらいいのでしょうか。私たちはじまるとき考えています。

広福寺は地域に開かれた寺でありたいと願っています。このたびスタートする「広福寺青壮年会」を中心に、青壮年の方、子どもたちにも寺に足を運んで頂き、お互いが気楽に会えるように、「親子と青壮年のつどい」を企画しました。初めての方もどうか、「はじめの一歩」を踏みだし、気軽に遊びに来て下さい。いつもに考え、語り、笑い、楽しみましょう。

老若男女どなたでも参加できます。事前の申込みはいりません。広福寺で仲間をふやしましょう。

『広大文庫』リユースアル

○ゆつたりとソファーで読書

本堂と庫裏の渡り廊下の東側には図書室「広大文庫」(こうだいぶんこ)があります。寺の行事のときには受付所を兼ねています。

仏教書・小説・絵本・児童書・マンガなど一千冊余りがあり、どんどん補充しています。

地域の皆様に開放されています。子どもも大人も、いつでもどなたでも、ご利用下さい。

平日三時～六時まで。寺の行事の日、土日祝日は全日開いています。

たとえば「んな本・マンガも

◆仏教書◆

「本願力 まことに遇う」藤田徹文
「仏弟子に学ぶ一逸話に聞く仏教」

内藤昭文

「悲しみからぬ仏教入门」田代俊孝

「仏教入门」平川彰

「慈悲の仏道」「さとりとすくい」小川一乗

「歎異抄のこころ」高史明

「親鸞」丹羽文雄

「朝には紅顔ありて」大谷光真

「悲しみからぬ仏教入门」田代俊孝

内藤昭文

「梅原猛の授業仏教」梅原猛
「脳と魂」養老孟司・玄侑宗久
「図解雑学 親鸞」「図解雑学 仏教」「漫画歎異抄」岡橋徹栄

◆小説・ノンフィクション等◆

「佐賀のがばいばあちゃん」島田洋七
「ウメ子」阿川佐和子
「夜のピクニック」恩田陸
「パン・デイズ」重松清
「まぐろ土佐船」斎藤健次
「わしらは怪しい探検隊」椎名誠
「てるてる坊主の照子さん」なかにし礼
「運命の足音」「夜明けを待ちながら」五木寛之

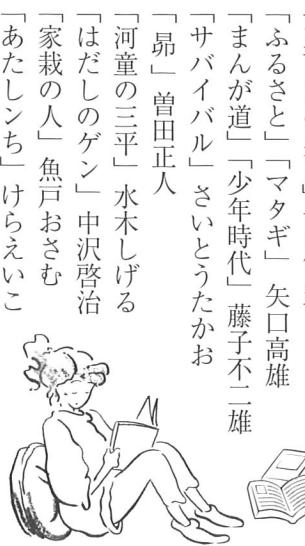
「にんげんだもの」相田みつお
「日本人の不安を精神分析する」岸田秀
「心を耕してみませんか」富田富士也
「生きる者の記録」「阿弥陀が来た道」佐藤健

佐藤健

「もつたいない」プラネット・リンク編
「妻の大往生」永六輔
「生き方の選択」日野原重明
「声にして読みたい日本語」齋藤孝

「生き方の選択」日野原重明
「河童の三平」水木しげる
「はだしのゲン」中沢啓治
「家栽の人」魚戸おさむ
「まんが道」「少年時代」「藤子不二雄」「サバイバル」さいとうかお
「昂」曾田正人
「ふるさと」「マタギ」矢口高雄
「まんが道」「少年時代」「藤子不二雄」「サバイバル」さいとうかお
「あたしんち」けらえいこ
「はれた日は学校を休んで」西原理恵子
「ちびまる子ちゃん」さくらももこ

「夕風の街桜の国」こうの史代
「失踪日記」吾妻ひでお
「神童」さそうあきら
「三十日の夕日」西岸良平
「ふるさと」「マタギ」矢口高雄
「まんが道」「少年時代」「藤子不二雄」「サバイバル」さいとうかお
「昂」曾田正人
「河童の三平」水木しげる
「はだしのゲン」中沢啓治
「家栽の人」魚戸おさむ
「まんが道」「少年時代」「藤子不二雄」「サバイバル」さいとうかお
「あたしんち」けらえいこ
「はれた日は学校を休んで」西原理恵子
「ちびまる子ちゃん」さくらももこ



まだ先のことを感じていた大遠忌ですが、厳修まであと四年半余りとなりました。平成二三年五月の大遠忌期間中に、新潟教区の団体参拝が計画されます。五〇年に一回の大法要です。ぜひともお参りしたいものです。

皆様には本山負担金のご負担をおかけしております。瓦懇志にも多くの方からご協力を頂きました。お陰様で本山の大師堂大屋根の修復が終わりました。

現在は本堂阿弥陀堂、大師堂の内部等の修復工事が行われております。平成二〇年中には工事が終了する予定です。

平成二三年五月一〇日～一九日
この間に新潟教区で団体参拝

まだ先のことを感じていた大遠忌ですが、厳修まであと四年半余りとなりました。平成二三年五月の大遠忌期間中に、新潟教区の団体参拝が計画されます。五〇年に一回の大法要です。ぜひともお参りしたいものです。

平成二〇年十月一日(水)午後
御門主様が広福寺に御巡教

平成二三年の親鸞聖人七五〇回大遠忌に向けて、御門主様が全国を御巡教されられます。私たち浜組法事を中心とする新潟教区第四組には、平成二〇年十月にお出でになります。

広福寺は十月一日(水)午後です。

◎帰敬式(ききょうしき・おかみそり)

◎御門主御導師により皆様と共に勤行

◎隨行長による御法話

◎記念撮影

等が予定されています。

*帰敬式(おかみそり)とは?

「帰敬式」とは仏弟子となる儀式です。法名もこのとき頂きます。剃刀(かみそり)を当てて剃髪の形をするので、「おかみそり」とも言います。(実際にはそりません)法名とは、親から頂いた名前とは別に、仏法をいただいて生きていく仏弟子としての名前です。ですから、亡くなつて葬儀の時に頂くよりも、生きているうちに頂くのが本来のあり方です。帰敬式を自分のいのちを問い合わせながら生きしていく機縁として

頂ければ有難いことです。ぜひともご参加下さい。

また、ご自分の法名(釈〇〇)にどうい願意をこめたいか、前もって法名を住職といっしょに考えてみましょう。

昭和五八年に広福寺で親鸞聖人の七百回御遠忌を厳修した際に、受式された方もたくさんおられました。

なお、特別な行事の時以外でも、事前に連絡してお願いすれば、本山佛光寺の晨朝(おさじ)のときに帰敬式をして頂くこともできます。ご相談下さい。

「門徒式章」をご着用ください

広福寺本堂庫裏落慶の時に「門徒式章」をお配りしました。長細い箱入りです。

寺の行事、ご法事のときなどにはぜひご着用下さい。真宗門徒のしるしです。



平成17年度 勘金決算書

<収入の部>

科 目	予 算 額	決 算 額
勧 金	2,600,000	2,592,000
雑 収 入	5,000	72,013
繰 越 金	5,227	5,227
計	2,610,227	2,669,240

<支出の部>

科 目	金 額	内 訳
1. 寺務経常費	2,668,317	
(1)負担金	812,410	本山護持金 教区費 ともしひ代 光寿堂維持管理費 本山御仏供米料
(2)事務通信費	266,861	複写機リース代・印刷費 用紙・領収書・切手葉書封筒
(3)会 議 費	114,631	世話方会議・総代会議
(4)教 化 費	401,650	本山御使僧様法礼・聞法会、広福寺だより・カレンダー代 御経本、聞法会、仏教講演会
(5)営繕管理費	1,072,765	火災共済・消防設備保守点検・香・電気灯油代 庭木剪定・冬廻い・仏具・書院補修・立木伐採
(6)門徒交際費	0	
2. 積 立 金	0	
計	2,668,317	

総収入 - 総支出 = 923円(次年度へ繰り越し)

平成18年度 勘金予算書

<収入の部>

科 目	予 算 額
勧 金	2,600,000
雑 収 入	5,000
繰 越 金	923
計	2,605,923

<支出の部>

科 目	予 算 額
寺 務 経 常 費	2,600,000
事 業 費	0
予 備 費	5,923
計	2,605,923

◆新潟教区
ホームページ◆

◆御寄進を
頂きました◆

御寄進を頂きました。
御懇念のほど誠に有難く、
心より御礼申し上げます。

○広大文庫図書
吉田地区総代
和歌浦 香 様

県内の真宗佛光寺派四
か寺の寺院からなる新
潟教区にはインターネット
上のホームページがあり
ます。

教学研修部、企画部の
布教大会、児童大会、公
開講座、などの様々な教
区活動や、機関誌「とび
ら」の紹介、スナップ集
などがご覧いただけます。
本山佛光寺のホームページ
はじめ県内寺院の
ホームページともリンク
しています。

● 法語 (ほうご・教えることば) ●

「当たり前と思っていたことが
有難いと気づかれる」

皆様に毎年お配りしている、法語カレンダーの十月のことは、「当たり前と思つたことが有難いと気づかれる」です。みなさんもそうお感じになつたことがあります。年配の方ほどそういうことが多いのかも知れません。なぜなら、私たち何かをなくしたときに「当たり前と思っていたことが」当たり前のことはなかつたのだと、初めて気づくからです。ふだんは、朝目が覚めて当たり前、顔を洗つてご飯を食べて、いつしょにテレビを見て……当たり前、当たり前。少しも有難いとは感じません。ところが、元気いっぱいだった体が、けがや病気で思うように動かなくなつたとき、「有難い」とは「有ることが難しい」と書きます。ナムアミダブツのはたらきは「当たり前の世界から「有難い」の世界への転換です。

数え年または満で九十歳になられた方に、本山から「祝詞」と記念の「木杯」が贈られます。いつでも広福寺へ御連絡下さい。証明書は不要となりましたので、お名前と生年月日をお知らせ頂ければけつこうです。

□□お願い□□

◎一万円の広福寺勧金◎

一戸あたり一万円の勧金とさせて頂いております。寺の教学、寺務、管理、営繕費等になります。勧金と同時に納入いただける方はよろしくお願いいたします。

◎一千円の広福寺墓地管理費◎

平成二十三年の親鸞聖人七五〇回大遠忌法要に向けて、本山から特別負担金のお願いが参つております。一戸あたり総額三万円をお願い申し上げ、納入を頂いております。おそれりますが、未納の方は平成十九年までに一括納入または分納でお願いを申し上げます。

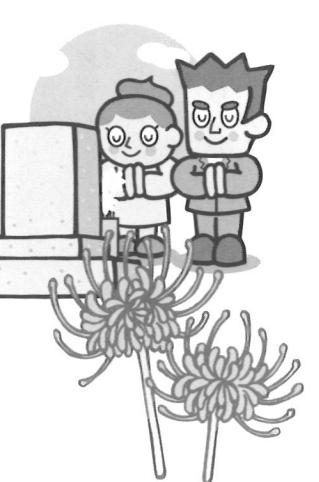
お墓参りに際してのお願い

お盆、お彼岸などに多くの皆様にお参り頂き、有り難うございます。きれいなお花がたくさん手向かれていています。

お墓参りのときも、まずは本堂ご本尊に参りするのが本来のあり方です。昼間はいつも本堂の御拝(ごはい)の扉は開いてあります。どうぞ自由にお参り下さい。

ところで、最近お墓へのお供え物が鳥獣に荒らされて困つております。どうかお帰りの時にお持ち帰り下さい。

ガラスの花びん、酒ビンなどは強風で飛ばされ割れ危険ですので、ご配慮下さい。ご協力をよろしくお願ひ致します。



□□九十歳のお祝い□□

お盆、お彼岸などに多くの皆様にお参り頂き、有り難うございます。きれいなお花がたくさん手向かれていています。

お墓参りのときも、まずは本堂ご本尊に参りするのが本来のあり方です。昼間はいつも本堂の御拝(ごはい)の扉は開いてあります。どうぞ自由にお参り下さい。

ところで、最近お墓へのお供え物が鳥獣に荒らされて困つております。どうかお帰りの時にお持ち帰り下さい。

ガラスの花びん、酒ビンなどは強風で飛ばされ割れ危険ですので、ご配慮下さい。ご協力をよろしくお願ひ致します。

「広福寺青壮年会」

★親子と青壮年のつどい★

(^o^) TERA de NAMARA (^o^)

11月4日(土)

午後2時 受付
午後2時半 開会

○「広福寺青壮年会」発会式

○余興「お笑い集団NAMARA」

午後4時 大人: 親親会
子供: お楽しみ会

* 親親会御参加の方

缶ビール・缶チューハイ・カツブ酒

お茶・ジュース・簡単なつまみ等

○大人: 千円(フリードリンク)

五百円(アルコール以外の方)

○高校生以下子どもたちのジュース
お菓子等は無料です。

*お笑い集団NAMARA(ナマラ)って?

一九九七年に行われた「第一回新潟素人お笑いコンテスト」の終了後、出場者とスタッフの有志が立ち上げた全国初の地方お笑い集団です。県内を中心にライブ活動、イベント出演、テレビ、ラジオ、CM出演など、多彩な活動。所属芸人は約十組。ナマラとは新潟弁で「とても、すぐく」

報恩講

浄土真宗の宗祖親鸞聖人の命日のお法要です。

真宗門徒の生活は「報恩講に始まつて報恩講に終わる」といわれます。親鸞聖人のおみがきをして、莊嚴(しょうごん)、おかげ(かざりのこと)を最も正式にととのえます。

◎11月7日(火)(おときづき)

▼午前10時 初日中 住職登壇

▼午後7時 初夜 行譜正信偈

聞法会員とおつとめ

ビデオ上映

○11月8日(水)(おときづき)

▼午前10時 満日中 住職登壇

須頃 西照寺 原 泰雄師ご法話



女性講

○11月16日(木)(おときなし)

▼午前10時 舌々正信偈

説教二席

月 潤 梵行寺 木村俊尚師

聞法会のご講師です。

11月の夜の聞法会は、女性講があるので、お休みです。

